第2回 東大阪市廃棄物減量等推進審議会 議事要旨

会議の名称	東大阪市廃棄物減量等推進審議会		
事務局	環境部		
開催日時	平成29年8月21日(月) 午後2時から午後3時30分		
開催場所	東大阪市役所本庁舎1階多目的ホール		
出席者	<出席委員：8名> (委員) 小幡会長、内海副会長、岩浅委員、福本委員、住山委員、渡部委員、栗本委員、森委員		
	<欠席委員：5名> (委員) 石川委員、吉川委員、岡本委員、村田委員、大浦委員		
	<事務局> 木下環境部長、千頭環境部次長、塚脇環境部次長、飯田循環社会推進課長、生田環境事業課長、川口循環社会推進課総括主幹、伊藤循環社会推進課主任、高部循環社会推進課係員		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
概要	<前段> 1. 部長あいさつ 2. 資料確認 <会議> 1. 資源物等の持ち去り対策について(諮問) 2. 市政モニターアンケートの結果内容について 3. 他市の持ち去り対策の事例について 4. 資源物等の持ち去り対策の考え方について 5. 今後のスケジュール等について		
内容	別紙のとおり		
その他	次回開催予定 11月1日(水)		

内 容

<前段>

1. 部長あいさつ
2. 資料確認

<会議>

1. 資源物等の持ち去り対策について（諮問）
市長から諮問書を交付
諮問書の写しを各委員に配布
市長あいさつ
2. 市政モニターアンケートの結果内容について
会長から「市政モニターアンケートの結果内容について」、事務局へ説明を求められ、事務局が「資料1」を用いて説明

（事務局から案件説明）

会長：ありがとうございます。この結果について、何かございますか。

A委員：アンケートの設問7ですが、「行政の対策が必要である」と回答した方が半数を下回っていることが問題だと思います。
市民、事業者、行政が一致団結していくべきではないでしょうか。条例での持ち去り行為の禁止を進めていただきたいと思います。
対策については、収集車が「資源物持ち去り防止にご協力ください」などマイク放送しながら収集を行うことが有効だと思います。
また、他市の状況を色々調べてみましたが、埼玉県熊谷市で資源物にGPSを仕込んで追跡調査を実施していました。

会長：ありがとうございます。他にございませんか。

B委員：牛乳パックやペットボトルはスーパーでも回収していますが、例えば空き缶だけをスーパーで回収するという案はどうでしょうか。

また、自治会には「ごみ減量推進員」という方々がいらっしゃいますが、その

方々が担当しているごみは生ごみだけなのでしょうか。

C委員：生ごみだけではなく、全てのごみです。

B委員：そのような方々がいらっしゃるので、自治会と行政がタイアップしてごみ対策を考えていけばよいと思います。

また、近所に更地があるのですが、どこかの老人が大量の空き缶を持ってきて、踏んで潰してはどこかへ持ち運んでいます。

資源ステーションに看板を設置したり、持ち去られる前に何か対策を講じる必要があると思います。

D委員：ごみ減量推進員の活動についてですが、自治会ではごみの出し違いへの対応とカラス対策で手がいっぱいです。持ち去りを見かけたら声はかけますが、とても怖いです。常時、監視するのは難しいと思います。

3. 他市の持ち去り対策の事例について

会長から「他市の持ち去り対策の事例について」、事務局へ説明を求められ、事務局が「資料2」を用いて説明

会長：持ち去り対策について、東大阪市で特に注意しなければいけないことなど何かございますか。

E委員：不法に持ち去る人と町会の活動としてやっている人の区別をきちんとしてほしいです。

腕章などがあれば安心して取りに行けると思います。

C委員：集団回収で収集を委託している業者からはアルミ缶を集めてはどうかと言われていますが、協力していただくのが難しいです。

会長：それはなぜですか。

C委員：集団回収は月に数回なので、面倒くさいのだと思います。市の収集に出す方が楽で良いのだと思います。

D委員：私の地域では20年～25年くらい同じ業者が収集していると思いますが、アナウンスもないので誰が取りに来ているかまではわかりません。

資源物の行政収集については、概ねパッカー車が来て収集してくれていると思います。

持ち去りではないかを毎回監視するのは難しいです。

C委員：資源ステーションの看板を作成していただきましたが、同じように持ち去り禁止の看板を作っただけであれば効果があると思います。

会長：ありがとうございます。他に何かございますか。

A委員：大型ごみについてですが、排出時に新聞チラシの白い紙で結構ですので、赤字で「資源を持ち去り厳禁します」と連番と一緒に記載してもらうのはいかがでしょうか。
持ち去り者に対してもインパクトがあると思います。

4. 資源物等の持ち去り対策の考え方について

会長から「資源物等の持ち去り対策の考え方について」、事務局へ説明を求められ、事務局が「資料3」を用いて説明

会長：ありがとうございます。ご意見等ございましたら、お願いします。

副会長：パトロールの実施とありますが、実施するとなれば人件費がかかると思います。この点について、市はどのように考えられていますか。

事務局：パトロールは市が実施することになると思います。
費用対効果を意識し、出来るだけお金をかけずに対策を講じられるよう、まずは広報、啓発をメインとして実態把握に努めていこうと考えています。

副会長：大型ごみの有料化を検討されていると思いますが、大型ごみ以外は無料で収集しているため、持ち去りを規制するにしても、品目については整理して考えるべきではないでしょうか。

事務局：おっしゃるとおり、全てのものを一気にやるというのは難しいと考えております。有料、無料のものを分けて考えていく必要もあると思います。

C委員：大型ごみの収集について、時間は指定されていたでしょうか。

事務局：午前9時までに指定の場所に排出することになっており、時間の指定まではしておりません。

B委員：集団回収について、空き缶を回収しているというところはあまり聞きません。となると、資源ステーションに排出するしかないため、持ち去られてしまうように思います。だからスーパーに持ち込めるようにすれば効果的だと考えます。

E委員：集団回収だと1カ月位取っておくのが大変だと聞きます。私の地域では、365日受け入れているし、依頼があれば取りに行っています。

D委員：どこに保管しているのですか。

E委員：公園横のスペースだったり、個人で倉庫を貸して下さっているの、そちらに保管しています。

B委員：そこまで協力的な地域はほとんどないと思います。スーパーならいつでも持ち込めます。

会長：ここまでの議論を踏まえて、市として何かお考えはございますか

事務局：市の考え方としては、市にとっても市民にとってもメリットがあるよう、整理して結論を出していきたいと考えております。

5. 今後のスケジュール等について

会長から「今後のスケジュール等」について、事務局へ説明を求められ、事務局が「資料4および参考資料1」を用いて説明。

会長：何かご意見、ご質問はございませんか。

(特に意見なし)

以上